



GMO リサーチ株式会社

2021 年 12 月期第 2 四半期決算説明会

2021 年 8 月 6 日

イベント概要

[企業名]	GMO リサーチ株式会社		
[企業 ID]	3695		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2021 年 12 月期第 2 四半期決算説明会		
[決算期]	2021 年度 第 2 四半期		
[日程]	2021 年 8 月 6 日		
[ページ数]	17		
[時間]	17:30 - 17:42 (合計：12 分、登壇：10 分、質疑応答：2 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]			
[登壇者]	2 名		
	代表取締役社長	細川 慎一 (以下、細川)	
	取締役 CFO	森 勇憲 (以下、森)	

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

登壇

司会：ただ今より、GMO リサーチ株式会社、2021 年 12 月期第 2 四半期決算説明会を始めます。
本日はお忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。

今回は、新型コロナウイルスの感染拡大に備え、決算説明会の開催に際して、皆様の感染リスクを低下させるため、会場での開催ではなくウェブ上でのライブ形式の決算説明会とさせていただきます。

本日のウェブ会議には、代表取締役社長、細川慎一、取締役、森勇憲の 2 名が出席しております。

これより、代表取締役社長の細川慎一から、2021 年 12 月期第 2 四半期決算につきまして、ご説明させていただきます。その後、Zoom ウェビナーの挙手機能を利用して、皆様からのご質問をお受けさせていただきます。詳しい方法につきましては、質疑応答のお時間の際に、改めてご説明いたします。

それでは、代表取締役社長細川より、ご説明させていただきます。細川社長、お願いします。

細川：私が GMO リサーチ株式会社、代表取締役社長の細川でございます。本日はお時間いただきまして、ありがとうございます。

これより、2021 年 12 月期第 2 四半期の決算説明をさせていただきます。

次のページに示しておりますものが、本日のアジェンダでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



- 売上高は前年同期比+16%。D.I.Yサービスが国内・海外両方の売上成長をけん引し、第2四半期単独/累計期間として過去最高を達成。
- 原価率の改善により売上総利益（粗利）が対前年同期比で222百万円増加し、営業利益以下の各段階利益についても大幅に増加

(単位：百万円)	2020 1-6月	2021 1-6月	対前年同期 増減率
売上高	1,612	1,865	+15.7% 2Q累計/単独 過去最高
営業利益	33	152	+361.2%
経常利益	16	173	+979.0%
最終利益	13	128	+819.1%

まずは、結論と要約になります。

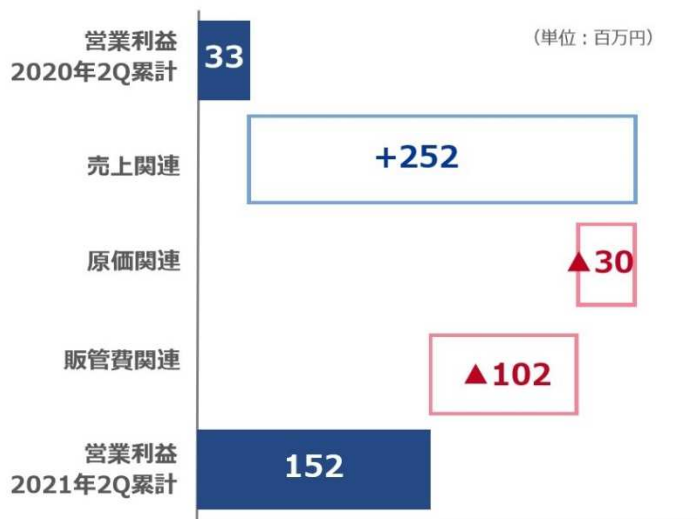
2021年第2四半期累計の期間の各段階利益に関しましては、売上高は対前年同期比16%増の18億6,500万円、営業利益は対前年同期比361%増の1億5,200万円、最終利益は対前年同期比819%増の1億2,800万円となりました。

コロナ禍でリサーチ業界もDXがどんどん進んでおりまして、オンラインリサーチへの移行がさらに進んでおります。結果、当社の売上も、特に2Q、上半期で見ても過去最高の売上を達成することができました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

- 高利益率案件の増加、実査工程の稼働率上昇、生産性や原価率の改善施策により粗利は前年同期比+222百万円
- 販管費は前年同期比+102百万円とし、営業利益は前年同期比+119百万円



主な増減要因

- ・ 売上関連
国内における調査案件が堅調に成長
- ・ 原価関連
高利益率案件の増加、実査工程の高稼働率や生産性／原価率改善施策により、原価率が改善
- ・ 販管費関連
人件費、広告宣伝費・販促費の増加

次に、営業利益の推移になります。

国内における調査案件が堅調に推移したことで、売上高が増加し、一方、高利益案件の増加や、実査工程、オペレーションの稼働率の上昇、その他、生産性や原価率改善の施策を行いまして、原価率が改善いたしました。その結果、粗利が対前年同期比で2億2,200万円増となりました。

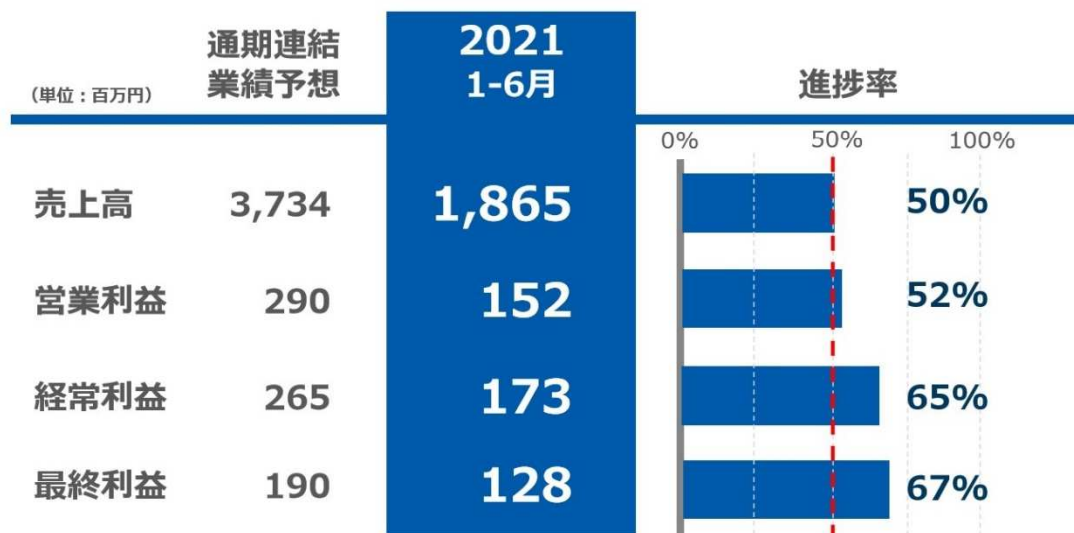
販管費については、人件費や広告宣伝費、販売促進費の増加がありましたが、適正にコントロールしておりまして、その結果、営業利益は対前年同期比で1億1,900万円増となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

- 通期業績予想に対し、売上高および各段階利益ともに、順調に進捗
- 成長率をさらに高めるため、下半期には、投資対効果が見込める領域(*)への投資を積極化する予定

(*) 例：クラウドパネル拡充、顧客開拓、プロダクト開発/改善など



次に、2021年の業績予想に対する進捗です。

売上高につきましては、進捗率50%と順調に推移しております。また、営業利益の各段階利益につきましても、順調に推移しております。

今期の下半期、来期以降の成長率をさらに高めるために、投資効果が見込まれる領域への投資を下半期には積極的に行っていくとは思っておりますが、今のところは当初の業績予想通りに考えておりまして、変更はいたしません。

今後、業績予想の修正が必要になる事実など、公表すべき事実が発生した場合には、すみやかにお知らせいたします。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

(単位：百万円)	2020 1-6月	2021 1-6月	前年比
売上高	1,612	1,865	115.7%
売上原価	920	950	103.3%
売上総利益	691	914	132.2%
(売上総利益率)	42.9%	49.0%	+6.1pt
販売費及び一般管理費	658	761	115.6%
(販管費率)	40.8%	40.8%	±0.0pt
営業利益	33	152	461.2%
(営業利益率)	2.1%	8.2%	+6.1pt
経常利益	16	173	1,079.0%
当期純利益	13	128	919.1%

次に、決算概要になります。

まず、連結損益計算書になりますが、こちらは先ほどご説明させていただいた通りですので、割愛させていただきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

(単位：百万円)	2020 12月末	2021 6月末	前期末比
流動資産	1,823	1,979	108.5%
現金及び現金同等物	913	1,151	126.1%
固定資産	408	397	97.3%
資産合計	2,231	2,376	106.5%
流動負債	739	837	113.2%
固定負債	8	12	135.3%
負債合計	748	849	113.5%
純資産	1,483	1,527	103.0%
(純資産比率)	66.5%	64.3%	▲2.2Pt

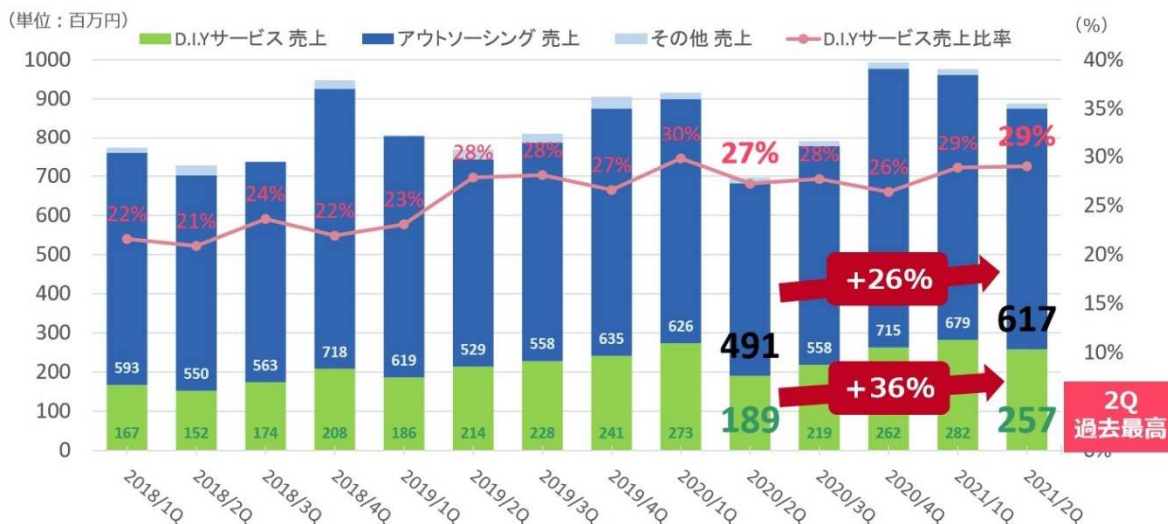
次に、連結貸借対照表になります。

こちらは、前期末からバランスシート構造には大きな変化はなく、安全性の高い財務状況をキープしております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

- アウトソーシングは、前2Q比で+25.6%(126百万円増)。
- D.I.Yサービスは、前2Q比で+35.8%(67百万円増)となり、第2四半期のD.I.Yサービス売上としては過去最高を達成。
- D.I.Yサービスの売上高構成比は29.0%に増加。



次に、事業の概況に移りたいと思います。

まずは、サービス別の売上高の推移になります。

アウトソーシング売上は、前年度比でプラス 25.6%となりました。

D.I.Y サービス売上は、前年に比べてプラス 35.8%となりました。コロナの影響で売上が大きく落ち込んだ、昨年第2四半期から大幅に増加いたしました。特に D.I.Y サービスについては、第2四半期の売上高は2億5,700万円となりましたが、これは第2四半期の売上高としては、過去最高記録となります。

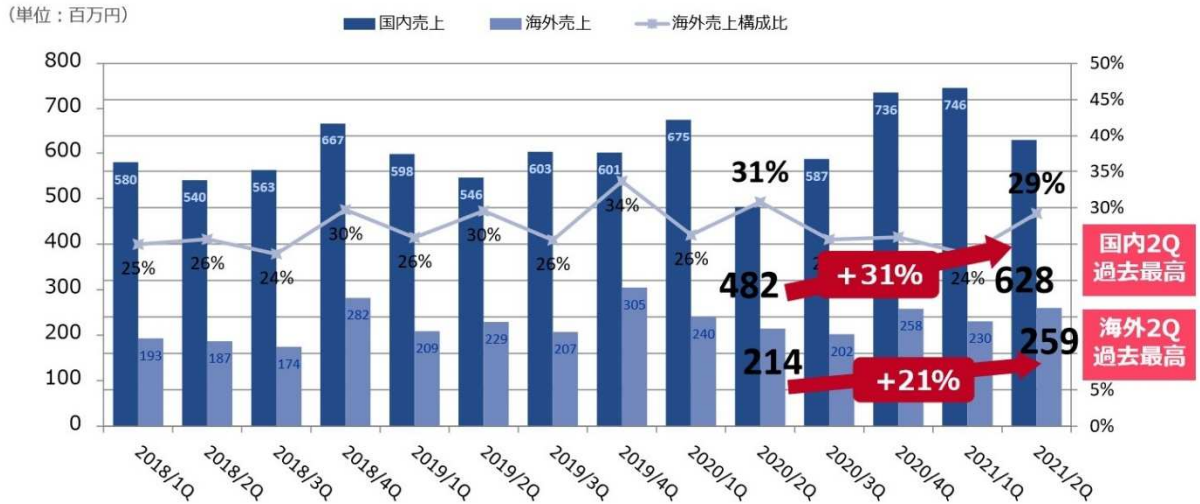
コロナにおいて、業界全体のさらなる生産性向上が進んでおりまして、当社のシステムを他のお客様のシステムだとか、マーケティングツールとかと API でつなぐことによって、当社パネルを DIY でお客様のところから直接使っていただくようなケースが増えております。結果、DIY の売上ですので、当社のオペレーションなしでの効率的な売上が大きく増加しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



- 前2Q比で、国内売上+30.5%(+146百万円)、海外売上+21.1%(+45百万円)
- 国内売上・海外売上ともに、2Q期間として過去最高売上を達成



次に、国内・海外別の売上高の推移になります。

国内売上は前2Q比でプラス30.5%、海外売上は同様に昨年比でプラス21.1%となりました。国内も海外も調査業界のDXの流れを受けて、過去最高の売上を記録しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

- 競争力の源泉であるアジア15の国と地域における4,269万人超の消費者へのリーチ力をベースに、①地域深耕・エリア拡大、②販売商品の充実、③データ・AIを生かした業界変革の3軸で中長期的に安定した成長を目指します。



最後に、中期的成長シナリオ。

これは、年始に、当社の今年の計画のところでも共有させていただいたことです。簡単にだけ触れさせていただきます。

当社の競争力の源泉は、アジア 16 カ国の国と地域における 4,269 万人を超える、アジアクラウドパネルと言われるパネルの方々であります。そこで登録いただいているパネルの方々には、安心して当社のシステムに個人情報を含むデータを預けていただくことが、非常に重要になっておりますので、信頼関係が当社にとってはすごく大切だということです。

その上で、まず①地域深耕・エリア拡大として、この域内の信頼関係の充実を図ること、対応する地域を拡大していくことが重要です。

次に②として、販売商品の充実を行う必要があります。これは企業様に対して、価値提供できるサービスを充実させて、業界の変化の対応をとっていくことが短期的に重要。

最後に、データやAI、これは当社にある非常に、お客様からお預かりした大切なデータをどのように、マーケティング含めて世の中の効率化に使っていくかが、非常に重要になってくるというところでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

途中の部分は年始にご説明しましたので、ここでは割愛させていただきます。同様に進めております。

2021年の主なリリース

GMO RESEARCH

日付	タイトル	URL
2021/1/12	GMOリサーチとLupeが協業 新規事業開発のための調査に特化したオンラインインタビューサービスを提供開始～課題発見のためのリサーチ設計と対象者リクルーティングをオンラインで支援～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20210112
2021/4/1	オンラインインタビューサービス「MO Liteインタビュー byGMO」基本料金が無料になるキャンペーンを実施	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210401489135_P01_.pdf
2021/4/19	2021年04月19日インドで自社運営のアンケートパネルサイト「Z.com Research India」をオープン	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210419496172_P01_.pdf
2021/7/1	「MO Liteアンケート byGMO」でさらにお得な『バウチャープラン』を提供開始！～本日7/1より、先着20社限定の半額キャンペーン開始～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20210701
2021/7/7	台湾駐在員事務所設立に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210706462732_P01_.pdf
2021/7/14	ACP16が国目となるUAEパネル提供開始のお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210713466297_P01_.pdf
2021/7/19	『日本ビジネススクール・ケース・コンペティション2021』の参加学生に対し「MO(エムオー) Lite(ライト)アンケート byGMO」を無償で提供～GMOリサーチが応援企業として参加～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20210719
2021/8/5	オンラインインタビューサービス「MO Insights byGMO」でビジネス領域のインタビューに特化した「MOビジネスインタビューパネル」を無料提供開始	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20210805

最後に、2021年の主なリリースといったところで説明させていただきます。

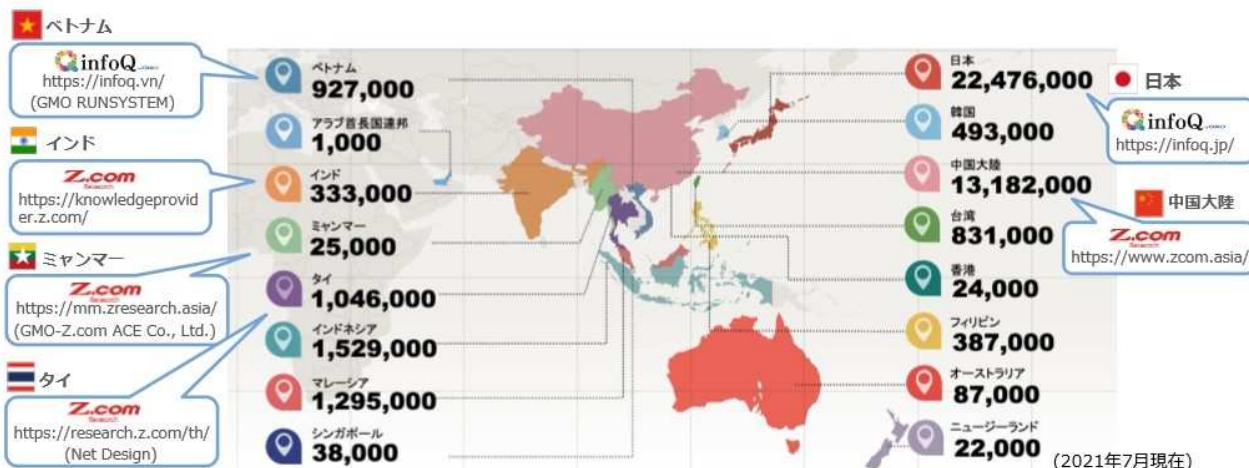
年始に、先ほど説明させていただいた中期計画に基づいて行っております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



- アジア16の国と地域で4,269万人超の業界最大規模のパネルネットワークを構築
- 大型・複数ヶ国にまたがる案件に対応可能であり、競争力、提案力が高くなる
- 競争力の源泉であるアジアクラウドパネルを質量ともにさらに充実させることで、アジアの調査対応地域の深耕とエリアの拡大を進めます。
- 2021年には、**インドでの自社運営パネルのリリース、アラブ首長国連邦（UAE）でのパネル新規追加**を行いました。



まず、①の地域深耕に関しましては、この中ではインドパネルの構築だとか、UAE パネルの販売開始だとか、台湾事務所の設立等がここにあたりまして、順調に進んでおります。

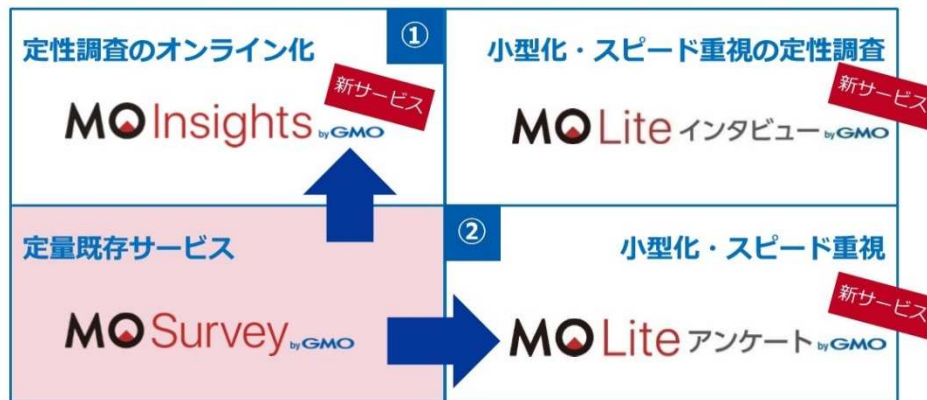
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

- マーケティングリサーチ業界の市場の変化に対応した事業展開により成長を目指します。
- 具体的には、顧客ニーズに適合させた「MO Insights」「MO Liteアンケート」「MO Liteインタビュー」等の商品のウェブマーケティング活動を実施し、新規顧客の開拓活動を行います。

<マーケティングリサーチ業界での市場の変化>

- ① 定性調査のオンライン化・・・インタビュー等の定性調査が急速にオンライン化
- ② 小型化・スピード重視・・・D.I.Yで安価に、スピード重視で、リサーチの内製化が進展



②商品の充実におきましては、MO Lite インタビュー、バウチャープラン、MO ビジネスインタビューパネルと、そういったところのリリースを行っております。

このリリースに関しましては、昨日、900万人のビジネスパーソンにオンラインインタビューができるようなサービスを提供しておりまして、こちらがこのリリースに対応いたします。非常に期待を持っております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

- 「MO CDP byGMO」サービスでは、アジアクラウドパネルから集めたプロフィールデータ、アンケート回答データ、行動データ等のゼロパーティデータ(*)を各種マーケティングプラットフォーム等で連携・活用しやすいようにDWHに格納し、データの公開をしております。
- このサービスを通して、マーケティングへのデータ活用の提案活動に取り組んでいます。その一環として**2021年6月に台湾に駐在員事務所を設立**しました。
- また、AIとデータを活用してアンケートの回収可否の予測精度の向上、アンケート回答品質の改善、会員のアクティブ率の改善等に取り組んでいます。



(*)ゼロパーティデータとは
 ユーザーが何らかの対価を得ようと自ら企業に提供するデータ。「同意を得た1stパーティデータ」とも解釈される。調査企業のフォレストアが2018年11月に命名した用語です。GDPR (EU一般データ保護規則) やCCPA (カリフォルニア消費者プライバシー法) に見られるように、データに関する同意の必要性の重要性が増している現状、ゼロパーティデータはプライバシーを守りつつ、精緻な情報を収集する手法として活用できるデータです。

3 番目のデータの部分におきましては、リリースといたしましては、台湾の事業所設立というのがここに入っておりまして、今後この拠点を中心に、いろいろ次の手を打っていく予定でございます。

以上が当社の決算説明となります。ご清聴いただきまして、ありがとうございました。

「想いを、世界に GMO リサーチ」

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



質疑応答

司会：それでは、これより質疑応答に移らせていただきます。

それでは、ご質問のある方は、ご視聴画面の手を挙げるボタンを押してください。

ご質問はございませんでしょうか。

それでは、まだお時間はございますが、ご質問はございませんようなので、質疑応答を終了させていただきます。

以上をもちまして、GMO リサーチ株式会社、2021 年 12 月期第 2 四半期決算説明会を終了させていただきます。本日はご視聴いただき、誠にありがとうございました。

細川：ありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com